

# 第12課 敬語：尊敬語・謙讓語Ⅰ・謙讓語Ⅱ・丁寧語

第12課講「敬語」。敬語分四大類：抬高對方（長輩、客人）的**尊敬語**、謙稱涉及對方的自身行為的**謙讓語Ⅰ**、鄭重講自己行為的**謙讓語Ⅱ（丁重語）**，以及單純把話講得有禮貌的**丁寧語**。掌握「抬高對方／放低自己」這個大原則，再記熟常用動詞的對照，就能應付 N3 的敬語題。

## ■ 今課目標

- 分清敬語四大類：尊敬語、謙讓語Ⅰ、謙讓語Ⅱ、丁寧語，各自抬高或放低誰。
- 用尊敬語的規則（お／ご～になる、～れる／られる、お／ご～ください）和特別動詞抬高對方。
- 用謙讓語Ⅰ（お／ご～する、特別動詞）謙稱涉及對方的自身行為。
- 用謙讓語Ⅱ（参る・おる・いたす・申す 等）鄭重講自己的行為。
- 避免「二重敬語」和「對自己用尊敬語」等常見錯誤。

## 一、敬語的全體框架

### ■ 先搞清楚『抬高誰、放低誰』

敬語的核心是「相對位置」。尊敬語把對方（長輩、客人）的行為抬高；謙讓語把自己的行為放低，從而間接抬高對方。謙讓語Ⅰ用於『自己的行為直接涉及對方』（例如去拜訪老師、向老師報告）；謙讓語Ⅱ（丁重語）只是把自己的行為講得鄭重，未必涉及某個對象。丁寧語（です・ます・ございます）則與上下關係無關，只是禮貌。

### 四類敬語一覽

| 類別        | 抬高／放低      | 用於            |
|-----------|------------|---------------|
| 尊敬語       | 抬高對方       | 長輩、客人的行為      |
| 謙讓語Ⅰ      | 放低自己（抬高對方） | 自己的行為，且直接涉及對方 |
| 謙讓語Ⅱ（丁重語） | 放低／鄭重      | 自己的行為，向聽者表示鄭重 |
| 丁寧語       | 禮貌（與上下無關）  | です・ます・ございます   |

## 二、尊敬語：抬高對方的行為

### ■ 三條通用規則＋特別動詞

尊敬語有三條通用造法：①お＋動ます形＋になる（ご＋漢語＋になる）；②～れる／られる（與被動同形）；③請求用 お＋動ます形＋ください（ご＋漢語＋ください）。狀態用 ～ていらっしゃる、名詞・な形容詞用 でいらっしゃる。部分常用動詞有專門的特別動詞。

### ■ 形式規則

① お＋ます形＋になる（お帰りになる）／ご＋漢語＋になる（ご出席になる）。② ～れる／られる（帰られる・出席される）。③ 請求 お＋ます形＋ください（お書きください）。④ ～ている→～ていらっしゃる；だ→でいらっしゃる。

### ■ 例句

1. 先生は何時にお帰りになりますか。  
→ 老師幾點回去呢？（お＋ます＋になる）
2. 社長は明日の会議に出席されますか。  
→ 社長明天會出席會議嗎？（～される）
3. どうぞこちらにお座りください。  
→ 請坐這邊。（お＋ます＋ください）
4. 先生はお元気でいらっしゃいますか。  
→ 老師您身體好嗎？（だ→でいらっしゃる）

## 三、謙讓語Ⅰ：謙稱涉及對方的自身行為

### ■ お／ご～する＋特別動詞

謙讓語Ⅰ用於『自己的行為，而這行為直接涉及／指向對方（長輩）』。通用造法是 お＋動ます形＋する（ご＋漢語＋する）。常見特別動詞有 伺う（拜訪／請教）、申し上げる（說）、拝見する（看）、お目にかかる（見面）、いただく（領受）。

### ■ 形式規則

お＋ます形＋する（お持ちする）／ご＋漢語＋する（ご案内する）。～てもらう→～ていただく。

## ■ 例句

1. お荷物をお持ちします。  
→ 我來幫您拿行李。(お+ます+する)
2. 私が会場までご案内します。  
→ 由我帶您到會場。(ご+漢語+する)
3. 明日、先生のお宅に伺います。  
→ 明天我會去拜訪老師家。(訪ねる／聞くの謙讓)
4. 先生の絵を拝見しました。  
→ 我拜看了老師的畫。(見るの謙讓)

## 四、謙讓語II（丁重語）：鄭重講自己的行為

### ■ 不一定涉及對方，只是鄭重

謙讓語II（丁重語）是把自己的行為講得鄭重、有禮，不一定涉及某個長輩。常用特別動詞：参る（去／來）、おる（在）、いたす（做）、いただく（吃／喝）、申す（說／叫做）、存じる（知道／認為）。多用於正式自我介紹、商務場合。

### ■ 形式規則

参る（行く・来る）／おる（いる）／いたす（する）／いただく（食べる・飲む）／申す（言う）／存じる・存じております（知っている・思う）。

## ■ 例句

1. はじめまして、田中と申します。  
→ 初次見面，我叫田中。(言う的丁重語)
2. 明日3時に参ります。  
→ 我明天三點會過去。(行く・来る的丁重語)
3. ただ今、資料を確認いたします。  
→ 我現在馬上確認資料。(するの丁重語)
4. その件は存じております。  
→ 那件事我知道。(知っている的丁重語)

## 五、丁寧語：です・ます・ございます

### ■ 與上下關係無關的禮貌

丁寧語只是把句子講得有禮貌，與抬高或放低誰無關。です・ます 大家已經熟悉；更鄭重的場合（例如店鋪、廣播）會用 ございます（だ→でございます、ある→ございます）。

### ■ 例句

1. こちらは新製品でございます。

→ 這是新產品。（だ→でございます）

2. お手洗いは2階にございます。

→ 洗手間在二樓。（ある→ございます）

## 六、常用動詞敬語對照表

普通形 → 尊敬語 → 謙讓語

| 普通形    | 尊敬語（抬高對方）     | 謙讓語（放低自己）        |
|--------|---------------|------------------|
| いる     | いらっしゃる／おいでになる | おる               |
| 行く     | いらっしゃる／おいでになる | 伺う（うかがう）／参る（まいる） |
| 来る     | いらっしゃる／お見えになる | 参る（まいる）          |
| する     | なさる           | いたす              |
| 言う     | おっしゃる         | 申す（もうす）／申し上げる    |
| 見る     | ご覧（らん）になる     | 拝見する（はいけん）       |
| 食べる・飲む | 召し上がる（めしあがる）  | いただく             |
| 会う     | お会いになる        | お目にかかる           |
| 知っている  | ご存じだ（ぞんじ）     | 存じている／存じ上げる      |
| もらう    | —             | いただく             |
| あげる    | —             | 差し上げる（さしあげる）     |
| くれる    | くださる          | —                |

## 七、常見錯誤與總整理

### ■ 常見錯誤

- **×** 先生がご覧になりました。  
○ **先生がご覧になりました。**  
「ご覧になる」已是尊敬語，再加られる變成『二重敬語』，多餘。
- **×** (自己) 私が申し上げになります。  
○ **私が申し上げます。**  
對自己的行為要用謙讓語，不能用尊敬語的造法（お／ご～になる）。
- **×** 先生はもう昼ご飯をいただきましたか。  
○ **先生はもう昼ご飯を召し上がりましたか。**  
「いただく」是謙讓語（放低自己）；講對方（老師）吃飯要用尊敬語 召し上がる。
- **×** 部長は今、会社におりますか。  
○ **部長は今、会社にいらっしゃいますか。**  
「おる」是謙讓語；問對方（部長）在不在，要用尊敬語 いらっしゃる。
- **×** お客様、あちらでお召し上がりになられてください。  
○ **お客様、あちらで召し上がってください。**  
召し上がる 已是尊敬語，疊加 お～になる+られる 是過度敬語。

自己輸出：想像你在公司接待一位客人。用敬語寫三句：一句抬高客人的行為（尊敬語），一句謙稱自己要做的事（謙讓語 I），一句鄭重的自我介紹（謙讓語 II）。

---

---

---

---

---